

尾道市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略の策定に対する意見募集の実施結果について

【募集期間】 平成27年8月28日（金）～平成27年9月28日（月）

【募集結果】 応募者数11人 意見の件数21件

【提出方法】 FAX2人 電子メール9人 持参0人

◎いただいたご意見（概要）と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	若者が家庭をもって、養えるだけの給料がもらえる仕事を提供してくれる会社を誘致してほしい。	若者の定住を促進するためには、雇用を確保することが必要です。総合戦略の基本目標1のとおり、技術系の企業も含めた企業誘致を推進してまいります。
2	技術系の仕事を増やして欲しい。製造業ばかりでは都会の大学を出た尾道市の若者は帰ってこない。	
3	市立保育所に待つことなく入れるようにしてほしい。保育料が安いというのは若者夫婦にとってとても魅力がある。	保育所の待機児童の解消については、従前より取り組んでいるところです。働きながら子育てできるまちを目指して、今後も引き続き取組を進めてまいります。
4	人口ビジョンでは20代の女性が近くの市に転出していることが多いと分かった。 若者が尾道で就職や子育てができるような取り組みをお願いしたい。	人口減少に歯止めをかけるためには、若者が本市で就職や子育てができるような施策を実施していくことが必要です。総合戦略において、若者・女性の就職支援や、各保育サービスや保育関連の助成制度の拡充にも取り組んでまいります。

5	尾道大橋取り付け道路の交通の緩和対策をお願いしたい。	尾道大橋周辺の交通緩和対策については、道路整備等に取り組んでいるところです。また、総合戦略において、本市の各地区内における交通網の整備にも取り組んでまいります。
6	地域農業の振興対策をお願いしたい。産地育成の為に市と農協が協力して取り組んでほしい。安心して農業に従事できる環境を望む。	農業に従事される方が安心して取り組むことができる環境づくりは重要です。農業振興における本市と農協の協力体制は必要不可欠であると認識しており、今後も協力して地域農業の振興対策を進めてまいります。
7	学校の廃校跡地活用として、特別養護老人ホームの建設をお願いしたい。	「尾道市高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画」の中で、待機者調査やヒアリング等の結果、平成27年度から平成29年度については特別養護老人ホームの整備は行わないこととしており、現時点では、特段総合戦略への掲載は行いませんが、学校の廃校跡地活用については、別途検討してまいります。
8	廃校になった学校の跡地活用に特別養護老人ホームの建設をお願いしたい。終の棲家としては、全然知らない景色より、やはり、生活してきた土地で終わりをむかえさせてあげたい。	「尾道市高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画」の中で、待機者調査やヒアリング等の結果、平成27年度から平成29年度については特別養護老人ホームの整備は行わないこととしており、現時点では、特段総合戦略への掲載は行いませんが、学校の廃校跡地活用については、別途検討してまいります。
9	事業所内保育施設に関する助成金の新設及び設置5年目以降の両立支援助成金の減額に対して、政策（緩和）を立案してほしい。	事業所内保育施設への助成については、ニーズを確認し、必要がある場合は調査・研究してまいります。また、両立支援助成金制度の充実について、国・県へ強く要望してまいります。

1 0	<p>離島の創生戦略として、以下のことを実施したらどうか。</p> <p>①中高齢者の呼び込み。中長期の滞在体験ができる住宅環境整備。</p> <p>②空家活用対策、休耕地の活用、医療福祉・防災環境の整備、地域の特性を活かしたカヤック等のレジャー。</p>	<p>離島に限定したものではありませんが、市全体として、総合戦略において移住・定住対策や医療福祉・防災環境の整備、地域資源を活用した都市・農村漁村交流等に取り組んでまいります。</p>
1 1	<p>斜面地の景観を活かした魅力溢れるまちづくりを行い、住民を斜面地に呼び込むことを提案する。本通り商店街から斜面地とのアクセスをよくするため商店街の東と西から千光寺山へ向けて、それぞれ上下二か所に中間駅を設けて、ケーブルカーを設置してはどうか。</p>	<p>本市の市街中心部の斜面地は、歴史的なまちなみを有する地域です。美しい景観の一方で、斜面地には空き家が多く存在しており、今後の課題となっております。斜面地に人を引き寄せる本提案については、今後のまちづくりを行う中で参考とさせていただきます。</p>
1 2	<p>音楽愛好者を募って、週末に、ボランティアで、「まちかどフラッシュモブ」を行ってはどうか。文化・観光都市 尾道の売りの一つとして行い、商店街に賑わいを取り戻してはどうか。</p>	<p>商店街を活性化し賑わいを高めることは、まちの魅力を向上させるために効果的だと思います。頂いた御意見については、今後の施策検討の参考とさせていただきます。</p>
1 3	<p>元気な高齢者を活用したらどうか。地域の戦力となり得るし、教育の観点からも貴重な存在である。</p>	<p>地域の住民にボランティア等として子育てにご協力いただき、子どもたちが地域の人たちと交流する中で成長していくことができるよう取り組んでまいります。そして、高齢者と若者が共に助け合い、豊かに暮らすことができるまちづくりを進めてまいります</p>

1 4	<p>新浜・イズミから北上して、平原団地、久山田を経由して、山陽自動車道・尾道 I / C に至る道路を実現してはどうか。また、新浜周辺に大規模な駐車場を設け、尾道バイパスから旧市内へ向かう道路として、長江経由（県道 363 号栗原長江線）のカーナビソフトの変更を関係先へ求めていく。さらに、花見シーズンと住吉花火祭りで行われている市内の学校の運動場の利用、ベイトウン尾道の駐車場、向島の運動公園などを、状況に応じて、臨機応変に活用し、それらの駐車場と市内を結ぶ無料の循環バスなどで、駐車場探しの渋滞も解消させる。また、それらの情報を、FM 尾道や SNS を使って周知し、遠来の客への対応をしていってはどうか。</p>	<p>市内中心部の駐車場不足については、課題として認識しております。国道 184 号バイパスや市道平原公園線の整備を進めているところです。頂いた御意見については、今後の施策検討の参考とさせていただき、渋滞緩和に向けて取り組んでまいります。</p>
1 5	<p>森林浴などの健康増進を目的に、洋らんセンター（向島）、フラワーセンター（因島）、シトラスパーク（瀬戸田）、びんご運動公園の南側斜面地（旧尾道）の施設を活用してはどうか。世代を問わず、高齢者も幼児も、安全で、開放された寛げる場所を、広く提供し、活用していく。管理、運営は、地元の自治組織や高齢者に委託することで、地元の自治組織や高齢者の生きがいつくりにもなる。</p>	<p>健康増進を目的として、本市の施設を活用していくことは効果的と考えます。今後もあらゆる世代の人たちが本市の施設を活用することで、高齢者と若者が共に助け合い、豊かに暮らすことができるまちづくりを進めてまいります。また、本市では、平均寿命が延びたことにより、高齢になっても元気に社会活動に参画し、仕事や子育てなど多方面において若者の手本や力になれる方が多くおられます。健康増進の取組みを進め、健康寿命の延伸を目指します。</p>

1 6	<p>総合戦略の最も重要な目標は生産年齢人口を増やすことであり、そのためには魅力的な仕事の創生が必要である。そのテーマとして『戦略的尾道ブランド“世界遺産おのみち和食”の創造』を提案したい。</p> <p>仕事の創生にあたっては、“世界遺産おのみち和食”の食材に関連した一次産業について、個人から法人化を推進し生産の継続性、安定性を高め、重点的に育成する。販売についても、飲食業者の安定した法人化・チェーン店化を推進する。観光業も含め、農業、漁業、飲食業などを中心に魅力的な仕事の創造を図り、生産年齢人口の増加に繋げる。</p>	<p>生産年齢人口を増やすためには、魅力的なしごとの場の創出が必要であり、総合戦略の基本目標1において、日本遺産等を活用した尾道ブランドをさらに強化するとともに、創業支援や中核企業支援や農林水産業の成長促進等に取り組むこととしております。頂いた御意見については、今後の施策検討の参考とさせていただき、しごとの場の創出を生産年齢人口の増加に繋げてまいります。</p>
1 7	<p>人間活動があまりにも大き過ぎるため、昔に比べてかなりのスピードで環境が破壊されている。産業を支えるもの、それは「環境福祉」だと思う。「製造業」ではかなりの水が必要であり、「医療」には生き物が不可欠である。年々増える大量のゴミが環境破壊の原因となり、観光関連へも打撃を与えている。「森・里山・里地・里海」を健全な環境にしなければ、それらの産業を維持することはできない。また、それに携わる方々が幸せで元気でないと続けることができない。</p> <p>尾道のそれぞれの町で、園芸・環境福祉活動（環境福祉）を実践し、つながりをもって助け合うことをすれば、自然と目指すべき将来の方向性の視点①から③が実現できると思う。</p>	<p>地球温暖化などの環境問題は、私たちの生活環境に大きな影響を与えています。このような環境問題に対して、本市の豊かな自然や環境を保全しながら、尾道に住み、働き、訪れる人や将来の子どもたちなどすべての人にやさしく、また、地球にもやさしいまちを目指し、総合戦略の基本目標4において、環境保全や環境教育を推進してまいります。</p>

18	意見を求めるのは在住者に限らず、元在住者のカテゴリーも加えて見てはどうか。元在住者ならでは外の視点から見た鋭い意見が得られると思う。	良い意見を求めるためには多くの人から意見を伺うことが効果的です。総合戦略の策定においては、元在住者を含め、様々な人から意見を伺っております。
19	過疎地間での引っ張りあいではなく、主要都市部からいかに尾道に人を引き込むか、他市の条件と比べいかに高く魅力的に映せるかにかかってくると思う。大抵の都市生活者や大きな企業で働く人たちは収入や社会保障の面、それに医療や教育施設のアクセス面で優位にあるだろうから、それに見合う以上の何かがなければ尾道への転入は難しいと思う。	本市に人を呼び込むためには、大都市等の他市と比べていかに魅力的であるかをアピールすることが重要です。総合戦略の基本目標2において、尾道の魅力を活かして新たな人を呼び込むことを目標として掲げています。
20	大学進学など、教養を求めた転出は高等学校より先はコントロールの範囲外だと思う。視野を広げる事や専門性を深める事を求めれば転出は自然の流れだと思う。転入を促すには、奨学金などで、地元に戻ってきて、ある期間就労すれば返済免除になるという事も出来るかもしれない。	大学等への進学で市外へ転出した後で転入を促すには、国の地方創生の取組の中でも推進されている、地元就職した場合は奨学金の返還の全部または一部を免除する制度は一定の効果があると考えます。制度について、調査・研究してまいります。
21	少子化対策として出産・育児サポートや子供の教育施設の充実を図る事は当然重要だが、同様に日本の仕事や家庭のバランスのとり方の悪さを改善させる事も重要だと思う。定時に仕事を終える事、産休や育児休暇（それどころか普通に有給休暇）をフルにとる事に後ろめたさを感じさせる社会のままではイクメン増加、女性の仕事復帰、出生率向上などは難しいと思う。	出生率を向上させていくためには、ワークライフバランスを推進していく取組が必要です。総合戦略の基本目標3において、子育て環境の整備及びワークライフバランスの推進を掲げており、尾道市で子育てをしたいと感じてもらえるまちづくりを推進してまいります。